

山本真也研究室

専門分野: 応用行動分析学、特別支援教育学

自身の研究の概要:

自閉症スペクトラム障害児・者（ASD）に対する有効な教育・心理的支援について応用行動分析学（ABA: Applied Behavior Analysis）の観点からの実践研究を行なっています。

自身の研究のフィールドは主に発達心理臨床研究センターや発達支援センター、自閉症児・者の自宅などです。

現在の研究テーマは「資源節約性・時間節約性を考慮した ASD への有効な介入方法の検討」です。

指導可能な研究領域やアプローチ:

特別支援教育の対象となる子ども達に対する応用行動分析学を用いた実践研究

子ども達が抱える様々な課題を解決するために、応用行動分析学の理論を用いて子ども達に指導を行い、その有効性を検討するような実践研究の指導が可能です。

ゼミの形態・内容・時間帯:

本研究室のゼミでは、「学生各自の実践研究の進捗の報告」「研究課題を見つける・深めるためのディスカッション」を原則的に週に 1 回実施しています。

また、応用行動分析学は知識を学ぶだけでは不十分で、実践の中で記録と分析を行うことが求められます。そのため、ゼミの活動の一環として発達障害児を対象とした療育活動の参加を実施しています。

それぞれのゼミの曜日・時限は相談の上で決定します。

ゼミ以外の課外活動:

基盤実習および開発・改善実習についての週一回のリフレクションを行います。

ゼミでの発表の事前準備段階や連絡関係では「slack」を用います。